

みえ福祉第三者評価結果

①第三者評価機関名

評価認証推進機構株式会社

②施設・事業所情報

名称：四日市市立大矢知保育園	種別：保育所
代表者氏名：山本 明美	定員（利用人数）：定員 130 名 119 名（H29.12.1 現在）
所在地：四日市市松寺 1 丁目 1 1 - 1 2	
TEL:059-365-0282	ホームページ： www.city.yokkaichi.lg.jp/www/contents/1001000001311/simple/8ooyachiho.pdf
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 昭和 28 年 9 月 1 日	
経営法人・設置主体（法人名等）：四日市市	
職員数	常勤職員：非常勤職員 19 名 19 名（3 名調理員）
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士 16 名
	幼稚園教諭 名
施設・設備の概要	（居室数）
	（設備等）

③理念・基本方針

【保育理念】

- ・生活やあそびなどの豊かな経験を通して友だちとのふれあいを大切に、子どもの一人ひとりの人権を尊重しあえる保育
- ・子どもの最善の利益を考慮し、子どもの福祉を増進する保育

【基本方針】

- ・家庭や地域社会との連携を図り、保護者の協力の下に家庭養育の補完を行う。
- ・子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより、健全な心身の発達を図る。

- ・養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成する。
- ・地域における子育て支援のために、乳幼児などの保育に関する相談に応じ、助言するなどの社会的役割を果たす。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・特別支援保育の充実に向けて、子どもたちが共に遊び生活する中で、互いを認め合い、育ちあう保育・教育を行っている。
- ・併設型子育て支援センターではあそぼう会を開催している。年齢に応じた遊びを提供し親子で楽しんでもらったり、在園児と一緒に遊ぶなど、交流をしている。親同士の交流の場でもあり、子育て相談も行っている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成29年9月19日（契約日）～ 平成30年3月15日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	回（平成 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

- 外国籍園児や支援を必要とする子どもを含め、子どもが心地良く過ごせる環境整備や工夫、配慮がある。
 - ・テラスにある職員手づくりの、絵本コーナーは、子どもが落ち着ける場所になっており自然と異年齢の交流が行われている。
 - ・1歳児組に続くテラスには、マットの上に手づくりの遊具や段ボールのトンネルがおいてあり、子どもはテラスから園庭へのタイムトンネルを楽しんでいる。
 - ・古い施設の現状の中で、可動式スロープや車いすなどが使用できるような工夫が見られる。また、異国の歌や文化と一緒に楽しむ取組等により、共に成長する心を育て、多様性を認める雰囲気の中で偏見のない子が育っている。
- 地域連携や地域貢献が活発である。
 - ・市の併設型子育て支援センターの一つとして20年以上の実績がある。週4回の“遊ぼう会”を通じ、地域未就園児の保護者間交流や育児相談や保健師、栄養士による相談ができる。担当職員に再任用の経験ある保育者と利用者と世代の近い若い保育者を配置し、主任児童委員の来訪もあり、幅広い年代層と相談・交流できるよう工夫している。
 - ・在園児保護者の要望を聞くため、1～2ヶ月に一度、独自に保護者同士の“おしゃべり会”を開催し情報交換の場を提供している。
 - ・公立保育園として必要な地域資源と連携しており、民生委員参加の災害訓練や年5回の交流会、安全パトロール隊による見守り、絵本や劇、語り等の地域ボランティア等の来訪等、地域と交流を図るための取組がある。

○職員提案による不審者対策やアレルギー・感染症対策の実行等、園の運営や保育サービスの向上に向け、職員は積極的に取り組んでいる。

◇改善を求められる点

・保育技術向上の取組として1年を通じて全クラス一回ずつミニ公開保育の園内研修を行っている。更なる質の向上に向けて、改善ポイントを記録等で明確化し、具体的活動に有効につなげていくことが求められる。

・園便り・クラス便りは充実しており、保護者の満足度も高いが、保護者の情報ニーズや要望に応えられる内容の情報発信を、それと分かり易い場所に掲示する工夫が求められる。

・職員内コミュニケーションについては、引継ぎ伝達が不十分なことがある。引継ぎ内容が確実に伝わるような記録の工夫が求められる。

・保育職員の半数程度を占めるパートを含む臨時職員にも、子どもを預かる保育職員として身に着けておくべき保育内容・技術向上に向けた研修内容やマニュアル、法令遵守等に関して、回覧や閲覧だけでなく、理解や周知の方法を考えられたい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

当園は、特別支援保育、子育て支援センターの充実を目指し、保育の質の向上に向けて、園内ミニ公開保育の取組や園内外の研修の充実に努めている。子育て支援センターにおいては、多様化する地域の保育ニーズに対応し、地域の福祉拠点として大きな役割を果たしている。今後も職員間の共通理解の意識を高め、PDCAサイクルの充実に努め、保育の質の向上につなげていきたい。

また、今回の受審により明確になった課題については、組織的な見直しを早急に行っていくべき問題と捉えている。今後も、さらに職員や保護者、地域との連携を密にし、子どもの最善の利益を追求し、保護者や地域の皆様に安心、信頼される園を目指して努力していきたい。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。